

一般社団法人 スマートエネルギー産業振興機構

(2015年5月法人化)

【基本理念】

- ◎ 自然との共生、自然エネルギーの活用は、持続可能な環境保全社会を構築するための必須アイテムである
- ◎ 自然の恵みを享受するその精神はもったいない、ありがたいの万謝の精神であり、自然エネルギーの普及促進とともに、常に節約・感謝の想いを醸成、啓発する
- ◎ 国産エネルギーの自給率向上と地産地消エネルギーを増加させるため、自然エネルギー・次世代エネルギー（水素・燃料電池等）の普及と産業振興を行う
- ◎ これまでの経済優先型エネルギーから、安心・安全・安定の3Aを基本とした需要家ニーズに基づく電源選択可能な環境経済型エネルギーシステムの構築を目指す
- ◎ 自然エネルギー・次世代エネルギーの応用開発とともに農業・漁業・林業など第一次産業との融合および普及を図る
- ◎ 自然エネルギー・次世代エネルギーの環境に優しい保守・メンテナンス業務の普及
- ◎ 自然エネルギー・次世代エネルギー関連産業における高齢者・障がい者等の雇用振興

【事業目的と内容】

- 1) 自然エネルギー発電所の建設支援およびソリューションの提供
 - ・自然エネルギー発電所(洋上風力・ソーラーシェア等含む)の建設支援
 - ・自然エネルギー・次世代エネルギー応用における各種ビジネスモデルの開発
 - ・各種施設における自然エネルギー・次世代エネルギーの導入促進
- 2) 次世代エネルギー(水素エネルギー・燃料電池等)の開発支援
- 3) スマートグリッド化への取り組みと応用開発
 - ・電力需要を正確に把握するためのスマートグリッド技術の開発支援
- 4) 市民発電所の事業化と建設支援
- 5) エコハウス、エコタウンにおけるスマートグリッド網の構築と支援
- 6) エコカー、燃料電池、高性能バッテリー、キャパシタ等の技術開発と支援
- 7) エネルギー関連部材（電池・モータ・磁石・レアメタル等）の調達と開発支援
- 8) 省エネ・蓄エネ技術、エネルギーハーベスティング技術の開発と普及促進
- 9) 農業・漁業・林業との融合を目指した自然エネルギー事業の開発と支援
- 10) 自然エネルギー・次世代エネルギー普及・促進における各種ソリューションの提供
- 11) 環境に優しい保守・メンテナンス業務の振興
- 12) 自然エネルギー・次世代エネルギー関連産業における高齢者、障害者の雇用振興
- 13) 上記の事業を遂行するために、講演会・研修会の開催、メールマガジンの発行、関連書籍の制作・出版、自然エネルギー・次世代エネルギー活用施設等の視察、関連展示会等への参加、当法人会員、大学・研究機関、後援・協賛団体等の支援を実施
- 14) その他、当法人の理念および目的を達成するために必要な事業を実施
- 15) 以上の事業については、本邦のみならずニーズに応じて海外にても実施

【スマートエネルギー産業振興機構としての取り組みポイント】

環境経済の推進と電力自由化において、特に重要視されて来るであろう「需要家サイドにおける電源の自由選択化」においてスマートグリッドの果たす役割は大きく、市場ニーズを把握し、需要家サイドにおいて使用したい電源を自由に選択できるような仕組み作りの研究及び関連産業の振興を遂行します。また、自然エネルギー・次世代エネルギー関連の製品開発を通して、日本の世界に誇る「ものづくり」の知恵と文化を後世に伝える努力をするとともに、次の世代に学びの機会を提供し啓発を行います。更に、自然エネルギー・次世代エネルギー等の事業を通して、自然災害等により被災した地域の復興・産業支援も行って参ります。

【スマートエネルギー産業振興機構について】

スマートエネルギー産業振興機構は、スマートグリッド技術を活用した自然エネルギー・次世代エネルギー産業を普及・育成するとともに関連する産業を振興することを目的として設立された法人です。

【社団法人の名称・住所・TEL・FAX・URL】

名 称：一般社団法人 スマートエネルギー産業振興機構

住 所：〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-49-7 池袋パークビル 1F

T E L : 03-4405-8255 F A X : 03-6856-9731 U R L : <http://smartene.org>

一般社団法人 スマートエネルギー産業振興機構 【役員一覧】

【顧問】

太田 健一郎 Kenichiro Ota

横浜国立大学 工学研究院 名誉教授・工学博士

元一般社団法人 燃料電池開発情報センター 代表

専門分野：応用電気化学：燃料電池、水素エネルギー、工業電解、水電解

主な受賞：カナダ水素協会賞(2004)、電気化学会学会賞(2011)

主な学会・学外活動：

燃料電池国際標準化委員会 委員長、産業構造審議会評価 WG 委員(経産省)、

日本学術会議エネルギー供給問題分科会委員長、元 電気化学会 会長(2008年)、

元 水素エネルギー協会 会長(2000～2008年)などを歴任。

【会長】

関 和市 Kazuichi Seki

元東海大学 総合科学技術研究所 教授・工学博士

元一般社団法人 日本風力エネルギー学会 会長

研究領域：低亜音速、遷音速、超音速、極超音速空気力学、飛翔体、人力飛行機、走行体、構造物、長大トンネルベンチレーション等の応用空気力学、エネルギー変換工学、風水車工学、風水力発電システム。

社会活動：経済産業省 総合資源エネルギー調査会 新エネルギー部会 委員、新エネルギー・産業技術総合開発機構 風力発電技術委員、新エネルギー財団 新エネルギー産業会議評議員・風力委員、国土交通省港湾・沿岸域における風力発電技術委員会委員、文部科学省革新技术評価委員会委員、日本電機工業会 風力発電標準化総合委員、日本工学教育協会編集出版委員、リニューアブルエネルギー有効利用・普及促進機構理事長、日本大学理工学部非常勤講師、GWEC アンバサダーなどを歴任。

【副会長】

勝呂 幸男 Yukio Suguro

元横浜国立大学 産学連携研究員、NEDO 風力発電高度実用化研究開発プロジェクトリーダー
元一般社団法人日本風力エネルギー学会 会長

社会活動：新エネルギー・産業総合開発機構(NEDO)風力発電装置関連諸委員会委員、
元日本エネルギー財団(NEF)風力委員会委員、元日本電気工業会(JEMA)風力発電設備技術関連
調査研究委員会委員、経済産業省 元原子力安全・保安院(現 商務情報政策局 産業保安グループ)
電力安全課 風力発電技術基準検討委員会委員及び委員長、地方自治体及び風力発電会社風車事故
調査委員会委員長などを歴任。

【副会長】 * 理事兼任

高見 弘 Hiroshi Takami

芝浦工業大学 工学部 電気工学科 教授・博士 (工学)

研究領域：電動機制御、再生可能エネルギーの発生などのパワーエレクトロニクス関連の制御
技術の開発に従事。現在、インターネットデータセンターの冷却装置用モータドライブの開発や
スターリングエンジンによる再生可能エネルギー発電制御等の研究に取り組む。

社会活動：電気学会、計測自動制御学会、電子情報通信学会、アメリカ電気学会等の会員。

NPO 法人日本スターリングエンジン普及協会 理事。

【評議員】

鳥海 豊彦 Toyohiko Toriumi

野村証券グループ・野村ツーリスト入社後、海外金融、IT 事情調査、視察、研修を手掛ける。
その後独立して以下の会社を設立。

株式会社コラボレート研究所 (2001年8月設立) 代表取締役会長、海外の主にエネルギー、
金融、IT 分野の事情調査、視察、研修を行う。また、若者を対象に米航空宇宙局 (NASA) に
て火星ミッションに焦点を当てた研修を通じ、宇宙、科学、資源などを学ぶ機会を提供する。

【代表執行理事】 * 事業統括

伊達 陸宏 Takahiro Date

株式会社スマート・エコロジー企画 代表取締役社長。一般社団法人日本作家クラブ 名誉理事
株式会社矢野経済研究所に入社後、レアメタル・チタン・アルミ等の新金属関連分野の需要開拓
を担当した後、1995年頃よりニッケル水素電池、リチウムイオン電池等の二次電池分野、風力発
電、太陽光発電、バイオマス発電、水素エネルギー、燃料電池等の再生可能エネルギー・新エネ
ルギー分野の需要開拓及びコンサル業務に携わるとともに当該分野の産業レポートを発行する。
2015年5月にスマートエネルギー産業振興会の一般社団法人化を行い現在に至る。

【執行理事】

高橋 亮 Ryo Takahashi

農食テクノインフォ 代表。山形大学農学部農芸化学科 (土壌肥料) 卒業。

1980年 ベントナイトの研究開発など。1982年 海外技術文献の企画調査。1983年 貝割れ大根
の栽培および水耕栽培・植物工場の研究。1985年 農業技術コンサルタント。1986年 株式会社
化学工業日報社 (取材編集、月刊誌「今月の農業」等の出版編集、新規事業開発等)。2017年 農
食テクノインフォを母体に農業技術情報誌の編集制作、農業分野の取材編集等を行い現在に至る。

【名誉理事】 * 前理事

杉山 久二 Hisaji Sugiyama

(株)マテリアル・トレイディング・カンパニー顧問、日本特殊材料(株)相談役、(株)相和 顧問
1973年金商又一株式会社(現三菱商事 RtM ジャパン)入社後、製鋼副原料及び機能材料としての鉱産物、各種レアメタル、稀土類の開発輸入業務に従事。主に中国・ロシア・中央アジアよりの資源開発輸入を推進。2012年12月より現職。

【名誉理事】 * 前理事

廣瀬 史朗 Shiro Hirose

ひろせ事務所 代表、関西大学法学部卒業。BMC 広告マスター(旧産業広告管理士)、京都府知恵の経営ナビゲーター、令和元年度厚生労働統計功労者 厚生労働大臣表彰。
1987年産経新聞社入社後、日刊工業新聞社、矢野経済研究所などを経てひろせ事務所を設立。
大阪府豊中市改革創造会議委員(2010年～2013年) 栃木県企業立地協力員(2011年～2013年)
豊中市市有施設有効活用委員会委員(2014年～2015年) 大阪府統計調査員(2014年～現在)
豊中市総合計画審議会委員(2016年～2017年)

【准理事】 ※名前五十音順

岡本 弘 Hiroshi Okamoto

日本証券アナリスト協会検定会員。新光投信株式会社において執行役員、理事職、参与職等を2016年6月まで歴任。1978年4月新日本証券株式会社入社、1982年より企業調査部にて機械、環境、造船セクターのアナリスト、課長を経て1998年総括部長。
2007年4月、新光投信株式会社転籍により執行役員企業調査部長に就任。
2009年の「トヨタF Sハイブリッドカーファンド」や「レアメタル関連株ファンド」など新ファンドの企画とプロモートを行うとともに理事、参与職を歴任。2016年6月に退職。
2017年6月より東証マザーズ公開会社 株式会社ランディックスにて監査役就任、現在に至る。

中井 努 Tsutomu Nakai

放送大学教養学部卒業。理化学関連企業に入社後、遺伝子、タンパク関連、マグロのカマよりDHA、EPAの製造ラインの構築、実験動物用飼育環境整備、製薬企業向け有機合成、ワクチン製造ラインGMP、GCPの品質管理、食品会社向けの品質管理等の業務に従事し現在に至る。

藤田 昌俊 Masatoshi Fujita

藤田 ISO コンサルティング 代表。早稲田大学理工学部電子通信学科修士課程修了。
1979年 富士通株式会社入社後、富士ファコム制御株式会社にてSEとして従事。主に鉄鋼、非鉄金属、化学ガラス大手メーカーのプロセスオートメーション分野のシステムを担当。
2011年11月にISOコンサル事業を立ち上げとともにQMS、ISMS 審査員としての活動を行う。

前田 暁 Akira Maeda *テクニカル・アドバイザー

大阪大学 基礎工学部 電気工学科 修士課程修了。1996年に東京大学で学位取得、工学博士。
三菱電機株式会社入社後、情報技術総合研究所画像処理グループマネージャー、システム技術開発部長、マルチメディア情報システム開発センター長、官公CCV事業推進センター参与を歴任。
現在、株式会社スマート・エコロジー企画の主席研究員として、通信と新エネルギーの融合を目指したスマートエネルギー分野の研究・分析、技術報告書作成、関連ビジネスの構築に従事。

以上、2022年5月5日 SEIDA 事務局作成